夕刊

九月七日發行

## 童話 酒筒（上）

吉本生

昔話です

沖の島は玄海のなかにある孤島なのです、この島におまつりしてあるお宮に奉仕する爲に神宮と足輕四人水夫四人、小人合計十一人の人達が百日を一期として交代しておつとめをすることになつてゐます。このつとめにあたつた人は自分は言ふ迄もなく家族迄が身體を淨めて、使命を完ふすことが出來る様に神様にいのり、行ひをつゝしむ例なつてゐます。

さて、沖の島にある品物は、たとへそれがチリ一つであらうとも、本土に持つて歸る事が出來ないおきてになつてゐます、もし、どんな小さいものでも持ち出したら最後、恐ろしい出來事がきつとどこかに起ると云ひ傳へられゐるからです。

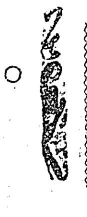
ある時、島の奉仕にあつた足輕の一人に吉岡安左衛門といふ人がありました至つて孝行な人でしたのでこの島へきたのになにかを親に土産を持つて歸りたいと思ひました、けれども、絶海の孤島には父親を喜ばす様な物は何一つ見つかりつこありません、ところが或る日お宮の裏の竹やぶを歩いてゐた時、安左衛門は見事なその竹をきつて酒筒をつくつたら酒好きの父親はそれに酒を入れてどんなに樂しむだらうと思ふと、その竹がきりたくてゐても立つてもゐられません。しかし前に申した通り島のものは何ひとつもち出す事が出來ませんのでいろ／＼と考へた末、水ごりを始めました、そして神様、どうか竹を二節程いたゞきたう御座いますと一心にお願ひしました、その熱意、孝心が神様に通じたものか何處ともわからないが朗らかな聲が聞ゆました「孝心に免じ願ひをかなへるぞー」と

安左衛門の喜び、神様にお禮も申上げることさへ出來ない位でした。早速竹をきつて酒筒を作りました、しかし人にみつけられては大變です、拜の殿隅へ出來あがつた酒筒をかくしておきました。

〇

9月8日
△一世一元の制を定む（明治元）△廢告取扱い開祖天野彌五兵衛歿す（大正四）△獨軍機械化部隊ワルソーに突入（昭和一四）

9月9日
△四道將軍を諸國に派遣す（崇神帝一〇）△東京に午砲を設く（明治四）



〇

狐はわが身を咎めずして罠を責む　蕗平文章

## 連續講談 異說赤穗浪士

別題「異說赤穗義士」「赤穗誠忠錄」

[2]　桃川若燕 講　城木喬

勅使下向

吉良上野介は綴州公に一通り挨拶を濟ますと、今度は内匠頭に對つて、

「これは内匠頭殿、手前は高家筆頭吉良上野之介義央と申する小身者お見知り下し置かれるやう——」

「恐れ入りまする」

内匠頭も禮を返す。そのうちに左京太夫との話が濟んだので、綴州公は内匠頭を連れてお廊下を通む、上野之介も御用が濟んだと見えてその後からお廊下へ寛ゐ。このとき向ふからやつて來たのが一人のお坊主。此のお坊主といふ役は、諸侯に茶を出すとか、お召替への世話をするとか、諸侯と諸侯の間の簡單な使ひを務めるとか云つたやうに諸侯の用を達す、從つてお坊主は徳川の殿中で召抱へはゐるがその實、何の誰樣係りと云つて、その大名から相應の手當を貰つてゐるのである。

そこへ來たのは御老中大久保加賀付の、典齋といふお坊主。

「ア、イヤ典齋——」

それを呼びとめたは上野介。

「これは吉良様、今日はよいお天氣で——」

「よ、お天氣ちやの、就いてはあいへ參る若い大名其方は知つて居るかの」

「イエ、曾て殿中にてお見上げ申したことのなきお方」

吉良様あれは誰方様で——？」

「されば、先般亡くなつた淺野采女正長友侯の子息に今度跡目相續して内匠頭長矩と云ふ」

「なる程、道理で綴州公が御同道なのですな」

「然し、爭はれぬものだなう、采女正は、色青く疳癖の相を致し、宛も青蛙のやうであつたが、いま見れば内匠頭も采女正に似てゐる。蛙の子は蛙とは能く言つたもののだハッハッハ」

大口開いて聞えよがしの哄笑。五間と離れてゐないところにゐる内匠頭の耳に入らない道理がない。大名育ちで、嘗て人に惡口雜言を言はれた經驗を有しない内匠頭はこれを聞くと思はず、カッとなつた。

「己れ、上野介、予を蛙に譬へるとは何事ぞ、不禮千萬な奴！」

流石に口には出さぬが、心の裡には、吉良に對する憎しみと憤りが强く刻みつけられた、

そのうち元祿十四年三月京都より勅使が御下向といふことになつた。正使は柳原大納言資廉卿、副使として淸閑寺中納言秋直卿が勅使として關東へ下向するといふ知らせが幕府にあつた。

これは徳川五代將軍の母堂桂昌院從一位に任せらるゝについての、ことに關し、その昔、鎌倉に幕府を開いた源頼朝公の御台所政子と申す足利將軍義子も二位に止まつてゐた。然るに五代將軍が御母堂桂昌院に孝道淺からざる旨長多くも、一位の高位を下しおかるゝに就て勅使の下向となつたのである。

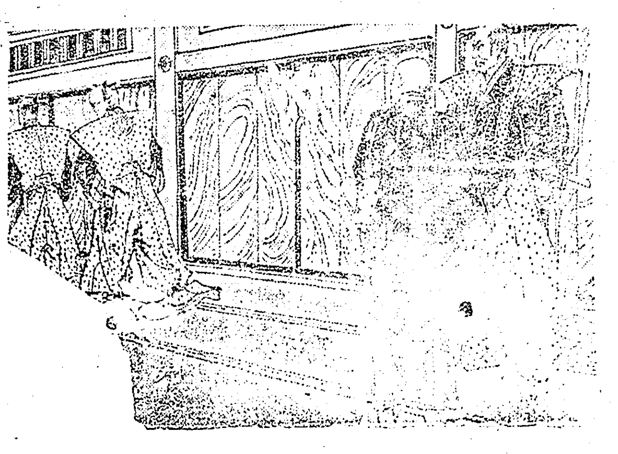
其の勅使御饗應申上ぐるのが第一番が、淺野内匠頭長矩、副使御饗應役が伊予吉田城主伊達左京亮宗春侯、元祿十四年二月三日御奉書を以て召し出され、御用番老中土屋相模守係役所へお召し出しになつて、

「此度勅使として柳原大納言殿淸閑寺中納言殿が二方江戸表へお着に相成る、正使は淺野内匠頭殿其許に御馳走番仰せつけられ、萬端好しなに相勤めますやう、就いては内匠頭殿は火消役お勤役なれど、此のお役は脇坂淡路守殿へお譲りになつて、早々その御支度あつて然るべし…」

「ハハア」

「副使淸閑寺中納言殿御馳走番は伊達左京亮殿へ仰せつけらるゝ、尤も永代橋お火消役勤め中なれば右お火消役は跡役池田伯耆守殿にお引繼ぎあつて然るべく、左様心得ますやう」

との申傳へがあつた。



## 初秋風景

小谷野淡

〇山の氣の冷々と迫る杉林赤土路のすめりがちなる
〇教室の鉢にまきたる隠元の小花いとほしみ見は水をやる
〇こほろぎの啼く音ならしと聞きすます耳にまさしくこゝろこゝろ
〇日々なべて降りたる雨に湧き水のこゝにもしてをり道よぎりつゝ
〇ゆびさきに兒がならしゆくとたん塀午前十前にあつくてたまらぬ


おでんと
ヤキトリ
田町赤廣トナリ
一柳

吸入用酸素
呼吸困難治療として早くおすゝめ下さい
流行感冒豫防に
（マスク）各種あります
病氣豫知に
（體温器）各種あります
平市古鍛冶町一〇（縣社下）
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

外科一般
内臓外科
性病科
肛門病科
平市南町十四番地（警察署通り角）
（舊診療所 平市六丁目）
木村外科醫院
木村淳
電話三〇九
◎入院應需

特許 専賣 米國 日本
防空暗幕
東京防空相談所推奬
防空暗幕の設計と施工
◆御一報次第參上
從來の防空暗幕地の缺點を一掃したる驚異的發明品
一枚にて完全遮光
敷島屋商店
平市六丁目六
電〔呼〕四八三番

開院廣告
内科
外科
平市六丁目
叶多醫院
電三九二

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
内務省指定
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
院長 醫學士 金森五郎
入院隨時

肋膜炎
氣管支炎
中耳炎
関節炎
神經痛
肺炎
皇漢藥と生公華
◎皇漢藥を愛するは國民の用務なり、國産愛用の今時輸入藥は成る可く遠避け漢藥に異念を持つは人世百年の生命なり。
◎本藥生公華は...
價藥
八〇 五人 九十五錢
四〇 五袋入 二圓廿錢
四〇 五十袋入 四圓
福島縣平市五町目角
山野邊藥局
アミノ治淋新劑 主治剤
六〇七號

電話（呼出）166
平市二丁目（警察署通り）
古山電氣商會
原口無線電機株式會社代理店
故障の起らぬ
原口のラヂオ
AK

新秋の味覺
とんかつ専門の店
興亞の暑を前にどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町（電話四六五）
かの家

産科
婦人科
専門
平市南町
根本醫院
電話三四番
（入院隨時）

味自まん
米屋の最中
最中屋が此の度び御茶受御土産として
味自まん どらやき
風味 御土産 三色羊羹
を始めました、どうぞ最中と同様御贔負願ひます。
平驛前通り
米屋最中店

平市田町
（電話五三二番）
高久病院
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤材博
藥劑士 佐竹喜雄
内科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
（看護婦至急募集）

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町三六

鑑定項目
名前の「み」で一代の運命……何んでもわかる
体力 肉体 疾病（健康、不健康、相貌）（病根病勢、病名）に關する一切
活動 職業 天運（適業、不適業）（天運、成功、不成功炎厄）に關する一切
血縁 家族運 男女縁（父母の縁、夫婦の縁子供の縁）有無（氣質、相性、相剋、時期方位に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

専門
皮膚科
泌尿器科
性病科
診察時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

小瀧礦泉の
凉味是非御出で下さい
縣選指定旅館
割烹 小瀧
電話小名濱一〇三

# 恐怖のロンドンから 海野氏(三菱支店長)平へ歸る
## 二町目出身磐中廿一回卒業の秀才

市内出身三菱倫敦支店員海野荘一郎氏（磐中第二十一回生商學士）は歐洲開戰以來身の危險を顧みず、最近では夜を日につぐ空爆下にさらされ乍ら烈々たる氣魄に日本男子の本領を發揮しつゝ今日に至つたが愈よ獨逸軍の英本土進攻が目睫に迫つたと觀られるに至つたので、過般一先づ同地を引き揚げ本店に前後の經過を詳細報告した上展墓の爲め昨六日夜市内二丁目の生家に歸省した。因に八重子夫人（湯本町山形屋鈴木康平氏令妹）は疑に引揚げ夫君の安否を氣遣ひ乍ら愛兒の撫育に專念してゐたが今回無事な夫君を迎へ歡喜に溺ちて居る

## 落ち目になつて英國人が折れる
### 海野氏引揚げ當時を語る

空爆下のスリルと云つた様な生々しい体驗を聽くべく往訪の記者に莞爾として氏は語る

六月二十一日リバープールから榛名丸に乘船しリスボン、モロッコ、カサブランカ、それから上陸禁止に憤慨し乍らケープタウン、ダーバン等南阿を廻り、前後七十餘日を發して去る二日駐英大使館岡本參事官夫人や三井物産の鳥羽君（往年の庭球デヴヰスカップ選手）その他六十名程の邦人と共に神戸に着いた。自分達の向ふに在る間はテームス河口のサウスエンドやドーヴァ海峽の東海岸俗に英利吉の南海岸と云つてる方面には再三の空襲があり、その方面から通つてゐる自分の處のタイピストなどは「昨夜も眠れなかつた」なんて睡眠不足の目を擦つて來たりしたが私達の居る方へは未だ一回も來なかつたので外の國の戰爭に怪我などしては詰らぬと云ふ警戒と、何時來るかわからぬ不氣味に襲はれた位の處で實際空爆にさらされた体驗は持つて居らぬ。英國民は一時天津問題に關してチエンバレン首相が議會で誇大な演説をした爲め日本人に對する好意と云ふものを失つたが其後落ち目になると同時に日本人の恐怖を害しては損だと云ふ考へを持つに至り大分緩和された。女子供は大体引揚げたので自分達の來る當時居殘つてゐたのは半ば土着の人達と殆ど半減した商社關係その他五百人内外だつたと思はれる云々

### 今後は本店勤務

海野氏は在英六年今春二月本店詰めに榮轉、戰爭關係で歸朝が遲れてゐたもので今回の歸朝は避難の爲めではなく約三日骨休めの上上京すると

## 平實業會結成 新体制に即應

市内猪狩庄平、五十嵐小平、岡部政右衛門、松本德一、永山勇吉、猪狩四郎諸氏は「平實業會」を結成すべく目下會員募集中だが會費一ケ年四十圓

この會は新体制樹立に伴ふ商工制度の改善研究を遂げるのがその目的である

## 平局第十七回國債全部消化
### 總額十一萬八千圓

去月二十二日より賣出された第十七回支那事變國債の平局割り當ては各種合計五百十七枚この金額十一萬七千九百七十五圓の巨額であつたが、前回の比較的不成績に鑑み之れが消化に極力奮闘した結果市民並に各團体の熱誠な支援と理解とにより全部消化の好成績を收めた、尚ほ今後は政治、經濟の新体制下に於て國債の消化は益々强化され從つて平局へも從來以上の割り當てあるべく市民に對して一層の協力方を望んでゐると

## 胡摩澤二班 節米決議

市内胡摩澤第二班常會は六日夜小谷彭男氏宅に開き節米方法として、月曜一食イモ、麥の混入、大根、混食、ウドン代食の

## 「買物貯蓄」實行
### 五十圓以上の消費者へ
### 市内取扱店決る

既報、買物貯蓄は愈よ縣下四市で實施する事となり平市内の取扱店は左の如く決定今後一回五十圓以上の物品又は商品券販賣の際は買人に國債、貯蓄（報國）債券の購入豫約申込みを勸奬する

山崎合名、菅本米店、西村藥店、柏原利三郎、小野商店、魁文堂、中野庄吉、金子重次、なかや洋服店、柏原幸次郎、猪狩庄平、マルトモ書店、釜屋商店、五十嵐小平、川又章二、吉田由三郎、仙台屋海産物店、伊勢呉服店、平商工會

## 第二學期 新級長

平第二、第三小學校第二學期の級長が左の通り任命された

大ケ川澄江（三ノ一）明察町子 かほり 橋本イク（三の三）渡邊翠子、鈴木稔子（四の一）大塚陽子 吉松和子（四の二）海老原エイ子、吉田佐惠子（四の三）鈴木和子、齋藤千惠子（五の一）松本照子 稲田か子（五の二）原崇代、武田千枝子（五の三）宍井美子 吉田千枝子（六の一）大村仁榮 關原トシ子（六の二）谷田愛子、高橋秀子（六の三）宮田ヒ燦子 岡内美佐子（高一の一）小川スミ子、小泉綾子（一の二）小谷ヶカ子、小菅時子（一の三）大原昭子、吉村トシ子（一の四）高木日佐子、金子高代子（高二の午）山野渡和子、松本トキ（二の一）酒井千代子、三村トミ子（二の三）永田美智子 佐藤玉枝（以上）

▲第三校（三ノ一）佐藤悌雄、鈴木慶義（三ノ二）國井良益 志賀官夫（三ノ三）大内和子 鵜原澄子（三ノ四）鈴木節子、菊池秀子（四ノ一）篠原圭三郎（四ノ二）内海正渡邊悟朗（四ノ二）大谷宮雄（四ノ三）大塚トキ子 緑川ヤス子（四ノ四）高木和子 遠藤小春子（五ノ一）小野信夫 國井英夫（五ノ二）小林常郎 菅野京（五ノ三）岩村妙子 佐藤照子（五ノ四）三井キヌ子、鈴木圭子（六ノ一）佐藤和子、高島久玄（六ノ二）酒良 川又常治（六ノ三）遠藤正子 田邊芳子（六ノ四）鈴木光子、四家武子

## 照明もほの暗く
### 極く内輪的になつた 昨今の南町界隈

近頃の自肅自戒は當然市の特殊的存在たる南町界隈にも反映し其筋の取締りと各營業者の愼しみから以前の如き通行人を惱ます白魔の跳梁がないのみか、營業主も漸次時勢に目醒めて他の適當な方面に轉向する傾向著しく曾て四五十軒を算した此種營業者も最近では二十數軒に半減し、それすら人手の關係から其の規模も最小限度の營みを續けてゐるかたちで、格子内から行く人の總てに安價なウヰンクを投ぐる甘酸い半日は を逐ふて無くなるものと觀られてゐる

## 凋落は自然の歸趨
### 此種營業の移行に就て ―市内某有志談―

風紀の徹底的肅正の建前から此種の階級が人爲及び自然の兩方面から陶汰されて行くのは當然の歸趨でこれに築めき生きて異性の玩弄物となり社會を毒し同性の敵とされた女性が享樂面新体制下に皆をあてられるも必然と觀るべきである。而も默つて袖を咬んで諦めねばならぬ存在であるが、この中には親兄弟のために身を賣つた人達もあらうから其れを思ふと氣の毒になる 女性は遊女の昔から人のために我が身を沈めることに甘んじたが美しい等の犠牲が却つて社會を濁らした、知性の無い傷だからである 保護の施設も出來て居るし非常時を契機に斯うした方

外貯蓄方法は近く隣組で具体案を協議する

## 軍人援護寄附 地方特志三氏

恩賜財團軍人援護會縣支部に對する事業資金として縣内からの特志寄附者は一般軍事援護の思想の普及と共に益々盛んとなり昨年六月以降九月までの寄附額八十萬圓を突破しゐる、地方關係左の如し

△千圓阿部政右衛門、鈴木新右衛門（平）矢郷倉藏（内郷）

## 市役所吏員磐梯登山
### 今月末二泊三日

市役所吏員有志十餘名は体育位向上のため來る二十二、三の二日續き休日を利用し磐梯登山を決行する、二十一日午前十一時十分平驛發キャンプ二夜の上二十三日午後六時二十二分歸着の豫定であると

△第一日 樋の口より徒歩川上又は磐梯温泉附近にキャンプ

△第二日 磐梯山探勝、翁島でキャンプ

△第三日 翁島、猪苗代、長濱見物

## 時間酒量ともに嚴守
### 實施早々市内各方面營業を通じて 享樂面新体制に自肅色

去る一日以來實施された該當營業方面に於ける營業時間及び酒類消費の制限は、さらでだに自肅意識の旺んな市民を驅つて一段の緊張氣分を醸し、以前には稀に見受けた白晝の茶屋あがりなどが今や全く其の跡を絶つに至つたに許りか、夜間とて制限内で良き程に切り上げる結果、泥醉放歌の非時局的な振舞ひする不心得ものも見受けず、時局柄とは云へ實施早々市内の各方面を通じ極めて頼もしい自戒色を濃らしてゐる

。。。。。渡邊靑年武道講習 渡邊村靑年團武道講習は二十一日から三日間開き村の武道指導者を養成する

## 警防團增員
### 委員會に附議

市警防團では防空訓練を前に百九名を增員することゝなり九日午後一時から開かれる警防委員會に、これに伴ふ豫算と併せ附議する

面の漸減は喜ばしい。云々

## 部團對抗選手選拔
### 十一日の郡軍武術

縣下郡軍武術大會は既報の如く來る十一日平商業學校で擧行するが、近く山形縣下で開かれる部團對抗選手選拔戰だけに各選手とも張り切り猛練習中であると

。。。。。遺家族指導懇談 小名濱町の軍人遺家族指導懇談會は七、八の兩日町内を四區に分け開催

## 体育の新体制提議
### 磐女から縣下校長會へ

今七日白河高女で開かれる縣下女子中等學校長會への磐女提出議案左の如し

一、明治神宮体育大會豫選會に於ける競技番組編成

一、新体制即應の体育に於ける指導理念は体位向上より奮闘精神の發成に移行しつゝあるものと認む之を學校体育上如何に具現すべきか

一、現行修學旅行規程に基く將來實行可能なる旅行地の選定及方法等に就き各學校の計畫を承りたし

。。。。。勿來接客業者健診 勿來町の接客業者健診は七日、同入村は九日何れも小學校

## 契約書を種に詐取
### インチキ鑛山師檢擧さる

引續きインチキ鑛山師檢擧の手をゆるめぬ平署では六日川部村小川鹿部炭礦の斤付近經營中の鹿島村久保北尾愛德（三元）を引致取調べてゐるが、同人は昨年十二月東京市淀橋區戸塚町谷本重良氏から大野村白岩地内二十七萬九千餘坪の鑛區を一萬二千圓で買ひ取る契約をし、内金五千圓拂込み契約書を作らせこれを種に田人村鑛業相澤作八氏に轉賣すると内金千圓を詐取、稲田町の料亭で費消したもの

**寄附** 大浦村仁井田 遊香美君は歸還記念として同村銃後會、小學校、鄕軍分會へ各十圓を寄附

### 平 若松翁
務平署 小野

勤倹力行修我躬
學問推服拓胸功
高萊自適優遊久
何事著天壽此翁

### 平市慶弔錄

○出生 本籍研町一九好間村上好間字馬塚前四朝比奈三郎氏二男和文君、四丁目三五六戸尻一郎氏長男好二君 本籍紺屋町二四小名濱町島町一馬目安田町一四大阪市吉山町八氏二女澄子さん、本籍錦渡邊彰一氏長男和男君 本籍北目町一二四倉町字館下九〇鈴木謙四郎氏二女洋子さん

○婚姻 本籍研町一九好間村上好間字根場館四朝比奈三郎氏（五二）と飯野村上荒川字尼二〇八渡邊マツヨさん（三五）

▲死亡 杉平二二猪狩和子さん 本籍正見町一五双葉郡上岡村本岡字夜ノ森一〇佃野芳雄氏（三七）

### 拈華微笑

アングロサクソンも落ち目になつては……傾聽に値する海野氏の歸朝談

□

二合止めなら百藥の長、一杯屋の自肅は嬉しい

□

一擧十二萬近の國債を消化した市民の健胃固腸振り

□

割增しが附かなくもこの意氣込み この次ぎはもつと呉れやう

□

往く盛のたゝずまひ慌しく二百二十日前は不氣味な今夜候

新曆九月九日 月曜 舊曆八月八日 乙卯 先負 破 張宿

大凶▲三碧 無理をせず氣永にかまへる時は吉き日となる▲四綠 妄動するときは後に悔を殘すこともあり注意▲五黃 身は雨中にあれど行手は晴るゝ急ぐまいぞ▲六白 短慮に流れ損失を招くこと多し旅行尤も凶▲七赤 自己をほこらず安靜を保たば吉き日と成べし▲八白 根氣續けば成功すれど惡氣を生ずれば敗る▲九紫 目前の私情を捨て正に向つて進むが吉たり▲一白 名利共に擧る日思ひ切つて事を企て過らなし▲二黒 浮き腰にして妙に實入らず動きはつゝしむべし▲三碧 進路を誤り深みに落ち込み易き日家居安全▲四綠 次第に吉に向へども金談は成るべく避くべし▲五黃 氣に緩みを生ずるときは意外の失敗ある日▲六白 うつ氣に閉ざされ晴々とせざる日旅行移轉凶▲七赤 折り返す波を渡る如し一時の油斷もならず▲八白 物腹を生じ易し口入れ事は成るべく避くべし▲九紫 内の小事を後に外の大事を處理して吉き日

新曆九月八日 日曜 舊曆八月七日 甲寅 友引 執 星宿

▲一白 一方に利あるも他方に損し易し衛生も注意▲二黒 貧乏くじを引き當て易き日血氣に疾るは

### 八日
小名濱測候所觀測

滿潮 前八、五〇 後七、四五
干潮 前一、四五 後二、〇五

### 天氣豫報
小名濱測候所發表

今晩 北の風曇時々驟雨模様
明日 北東から北の風同天氣よし

田毎の
たしること
おそうに
中田町電632

開業
民刑法律事務一般
内外特許事務一般
辯護士 辨理士 增田法律特許事務所
平市字揺槌小路一
電話平六二五番
振替仙台一〇九三五番

肺・肋膜・心臟・胃腸の弱い方に
血となり肉ともなる……
本場 生スッポンの「生血・生膽」を御勸め致します
平市六丁目通り
生スッポン特約養館
養館場 平市正月町一番地
さかいや商店
スッポン黒焼、むし焼粉末もあります

時局ノ生ンダ新案特許
日ノ丸習字板（第二八〇五七八號）
使用法半紙節約ノ目的ニテ習字ヲ書キテ濡雑巾ニテ拭ヘバ何回ニテモ使用出來マス
實用新案
メモ板 第二七七九〇四號
野球用ボール第一七九七三號
興亞ノート 第二四七九八號
專賣特許
興亞厚紙（第(イ)一七三六〇號 第(ロ)一七三六一號）
平市月見町十三
合資會社 興亞特許商事
同 月見町三十三 工場

コーライト
木炭・豆炭・コークスの代用燃料
三菱コーライトヲ御奬メ申上マス
特長……火力强ク火持チヨク、木炭ノ半値
御使用ハ御家庭用ノコンロ、火鉢、鍛冶用
一俵（五〇キロ）カラ配達致シマスドウゾ御注文下サイ。
昭和十五年六月
平市田町二
阿部石炭商店
電話 三七番 一三七番